

# 自治体情報システムの標準化・共通化に係る手順書【第4.0版】の概要

## 1. 手順書の概要

- 本手順書は、標準準拠システムへの円滑かつ安全な移行に資するよう、**自治体において共通して想定される標準化・共通化の作業手順等をまとめたもの。**
- 各自治体は、本手順書も参考としつつ、自らのシステムの現状等を十分に把握の上、目標時期までの移行に向け計画的に取り組むことが求められる。

【標準化・共通化における18の作業手順】

下線：早期に実施可能と想定される作業

|            |                                                                                                                     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 計画立案フェーズ   | ①推進体制の立ち上げ、②現行システムの概要調査、③標準仕様との比較分析、④移行計画作成                                                                         |
| システム選定フェーズ | ⑤ベンダに対する情報提供依頼(RFI)資料の作成、⑥RFIの実施、⑦RFI結果分析及び移行計画の詳細化、⑧予算要求、⑨ベンダへ提案依頼(RFP)、⑩ベンダ選定・決定、⑪契約・詳細スケジュールの確定、⑫特定個人情報保護評価（PIA） |
| 移行フェーズ     | ⑬システム移行時の設定、⑭データ移行、⑮テスト・研修、⑯次期情報システム環境構築・NW、⑰条例・規則等改正、⑱運用開始                                                         |

## 2. 手順書の改定方針

- 標準準拠システムへの**移行作業の進捗を踏まえ**、今後、作業が本格化する**移行フェーズの手順の詳細化**を中心に**手順書の記載内容を改正**するとともに、先行して作業を行っている各自治体における**取組事例について追加**を行う。
- 移行困難システムの状況を踏まえ、**移行困難システムの移行作業に資する内容を盛り込んで改定**する。

## 3. 手順書の改定案概要

### ① 移行フェーズの作業手順の詳細化

- ・ マルチベンダ等における検討事項や留意点について追記
- ・ 運用テスト、研修について内容を詳細化
- ・ 条例・規則等改正が必要となるケースを追記 等

### ③ 国における取組状況の反映

- ・ デジタル庁における文字同定の検討状況を踏まえた修正
- ・ デジタル庁が作成したガバクラ関連ドキュメントの反映（「ガバクラ利用について」、ガバクラ手順書第2.0版を参照）
- ・ 特定個人情報保護評価（PIA）に係る記載の詳細化

### ② 移行困難システムの移行に資する内容の記載

- ・ 移行困難システムの分類（個別開発、ベンダ撤退）ごとに自治体側で先行して行うことのできる作業及び作業手順を明示

### ④ 各自治体の取組事例を追加

- ・ 主に移行フェーズにおける各自治体における事例を収集し、取組事例集に追加

### ⑤ その他修正

- ・ 事業者等から寄せられた手順書への追記・修正要望を踏まえた各種記載の見直し